



# 招提北中だより

枚方市立招提北中学校  
H29. 7. 20 (木)  
発行者：校長 山本俊夫

## 1 学期終業式

本日一学期終業式が行われました。一学期70日（1年生は71日）が終わりました。この期間を「早かった」と感じるか「長かった」と感じるかは人それぞれだと思いますがどうでしょう。私は早かったなと感じています。

一学期は行事が盛りだくさんでしたね。大きな取組みとしては、全校的には体育祭、3年生は修学旅行、2年生は宿泊行事、1年生ではクラブ活動の開始、定期テストなど、小学校にはなかった取組みが多く、これまでの生活が一変したことでしょう。

昨日は各学年で集会があり、一学期の振り返りが行われました。良い所は伸ばし、できなかったことは改善し、二学期はさらに「いい学級」「いい学年」にしていってください。

明日から35日間の夏休みが始まりますが、この期間をどう過ごしていくかが、二学期以降の生活に大きく影響を及ぼしていきます。特に3年生にとっては、配布される学校の宿題にもあるはずですから、これらの宿題をうまく利用して、少なくとも1・2年生で学習した内容を一通り復習しておきましょう。もちろん、1・2年生も同じことです。

また、普段できないいろんなことにチャレンジしてみるのもいいでしょう。趣味や興味のあることにチャレンジすることは、その人の人間としての「幅」を広げることになります。時間を作って取り組んでみてはどうでしょうか。

8月28日の始業式には元気な姿を見せてください。では充実した夏休みを！



## 研究授業

7月10日（月）に、枚方市、他市の先生方にも多数参加していただき、美術の研究授業が行われました。

本校では、今年度の学校教育目標である「気づく つながる 学び合う」の実現に向けた授業作りに取り組んでいます。今回の美術の授業内容は「グループ鑑賞」でした。現在2年生では「張子」の技法を使って、様々な動物の制作をしています。その動物制作の途中で、グループの友達からアドバイスや感想などをもらい、自分の作品に生かしていくというのが今回の研究授業のテーマでした。



研究授業後、元静岡県公立中学校長の深沢幹彦先生に講評をいただきました。2年3組に皆さんがよく頑張っていたとお褒めの言葉をいただきました。一クラスだけ残ることになりましたが、ありがとうございました。

## 「学び」について考える

先日、ISに支配されていたイラクのモスルという都市をイラク政府が奪還し、ノーベル平和賞を受賞されたマララ・ユスフザイさんがモスル近郊の難民キャンプを訪れたとの報道をTVで見ました。モスルなどの紛争地域の惨状、特に学校が破壊されている状況を見るたびに、今の日本は平和であり、学びたいことはいくらでも学べる環境にあることのありがたさに感謝しています。次頁にマララ・ユスフザイさんの2013年7月12日に行われた、有名な国連演説スピーチを紹介します。これを読んで「平和」と「学ぶこと」について考えてほしいと思います。

※15歳で銃撃に遭い奇跡的に回復。16歳の誕生日にこの演説を行った。国連は7月12日を「マララ・デー」とした。

(前略)

Dear brothers and sisters, we want schools and education for every child's bright future. We will continue our journey to our destination of peace and education for everyone.

親愛なる少年少女のみなさん、私たちはすべての子どもたちの明るい未来のために、学校と教育を求めます。私たちは、「平和」と「すべての人に教育を」という目的地に到達するための旅を続けます。

No one can stop us. We will speak for our rights and we will bring change through our voice. We must believe in the power and the strength of our words. Our words can change the world.

誰にも私たちに止めることはできません。私たちは、自分たちの権利のために声を上げ、私たちの声を通じて変化をもたらします。自分たちの言葉の力を、強さを信じましょう。私たちの言葉は世界を変えられるのです。

Because we are all together, united for the cause of education. And if we want to achieve our goal, then let us empower ourselves with the weapon of knowledge and let us shield ourselves with unity and togetherness.

なぜなら私たちは、教育という目標のために一つになり、連帯できるからです。そしてこの目標を達成するために、知識という武器を持って力を持ちましょう。そして連帯し、一つになって自分たちを守りましょう。

Dear brothers and sisters, we must not forget that millions of people are suffering from poverty, injustice and ignorance. We must not forget that millions of children are out of schools. We must not forget that our sisters and brothers are waiting for a bright peaceful future.

親愛なる少年少女のみなさん、私たちは今もなお何百万人もの人たちが貧困、不当な扱い、そして無学に苦しめられていることを忘れてはいけません。何百万人もの子どもたちが学校に行っていないことを忘れてはいけません。少女たち、少年たちが明るい、平和な未来を待ち望んでいることを忘れてはいけません。

So let us wage a global struggle against illiteracy, poverty and terrorism and let us pick up our books and pens. They are our most powerful weapons.

無学、貧困、そしてテロリズムと闘いましょう。本を手に取り、ペンを握りましょう。それが私たちにとってもっとも強力な武器なのです。

One child, one teacher, one pen and one book can change the world. Education is the only solution. Education First.

1人の子ども、1人の教師、1冊の本、そして1本のペン、それで世界を変えられます。教育こそがただ一つの解決策です。エデュケーション・ファースト（教育を第一に）。